

留学報告書

記入日:2016年5月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: The University of Memphis
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	○特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月18日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～2月中旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	17068
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	6500	円	
食費	3000	円	自炊
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
教養娯楽費	500	円	教科書代
被服費	0	円	
医療費	50	円	ツベルクリン検査など
保険費		80000円	形態:明治大学の保険
渡航旅費		220000円	
雑費	300	円	食器や寝具
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	10350	300000円	合計 1490250円程

渡航関連	
渡航経路: 羽田-ロサンゼルス-メンフィス・メンフィス-ロサンゼルス-成田	
渡航費用	
チケットの種類	片道
往路	150000 円
復路	70000 円
合計	220000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
行き: 楽天トラベル・帰り: サウスウェスト航空とシンガポール航空	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
寮	
2)部屋の形態	
<input type="radio"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)住居を探した方法:	
大学側が決定(留学生は自動的にカーペンターコンプレックスに入寮する)	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮での生活は和気あいあいとしたイメージでしたが、個人で行動する事が多いため軽い挨拶程度の仲でした。ルームメイトと仲良くなるよりは日本語を学んでいる生徒などと交流した方が良いと思います。	
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="radio"/> 利用する機会が無かった・学内にヘルスセンターがあり、友人は病院へ行く前にそこで診察してもらっていました。 <input type="checkbox"/> 利用した:	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
ありませんでしたが、留学担当者に連絡出来ます。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
ありません。車移動で友人と行動する事が多かったので危ないと感じた経験もありませんでした。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
学内の wifi は昼間は少し不安定でしたが、全く使えないことはありませんでした。パソコン室が沢山あるので日本語をタイプするとき以外は自分のパソコンは必要なかったです。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
三枚のクレジットカードを使用していました。現金が無ければ行けないところはなかったので、友達と割り勘するときのみ現金を使用していました。そのため、銀行口座を作らなくても問題なかったです。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
あって便利だと思ったのは、手で丸めるタイプの圧縮袋と洗濯ネット、歯ブラシ(アメリカの物が大きいいため)です。	

卒業後の進路について

1) 進路
就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 〇未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ, 記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 24 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	マネジメント
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Julie A. Yancey
授業内容	マネジメント・マーケティング・アカウンティング・ロジスティック・起業などの広いビジネス分野を教科書に沿って講義型で勉強しました。
試験・課題など	課題はなく、テストが全4回ありました。教科書に沿った内容で、4 択式なので簡単でした。
感想を自由記入	ビジネスを勉強するのが初めてだったので、会社の全体の構造を知るにはとても良い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Entrepreneurship		企業家精神入門	
科目設置学部・研究科	マネジメント		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jennifer Sadler		
授業内容	起業におけるプレゼンのやり方や集客の方法まで勉強し、実際にクラスで自分のビジネスモデルを発表する参加型の授業でした。		
試験・課題など	試験は無く、課題が多かったです。シールを一枚渡され、一週間以内にお金を稼いできたり、プレゼンの準備をしたりしました。		
感想を自由記入	初めは英語でプレゼンをするのは恥ずかしかったです、同じ立場のフランス人が同じ授業に沢山いたことで勇気をもらい、自分に自信を持てるようになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Marketing		マーケティング入門	
科目設置学部・研究科	マーケティング		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Mary Anna Michel		
授業内容	マーケティングの方法を教科書に沿って学ぶ講義型の授業です。		
試験・課題など	レポートの課題が4回、試験も4回ありました。		
感想を自由記入	テストは 4 択式だったのでとても簡単でした。マーケティングは生活の中に身近にあるので理解しやすかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Organization and management		組織マネジメント	
科目設置学部・研究科	マネジメント		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Julie A. Yancey		
授業内容	教科書に沿って教授が説明していく講義型で、企業の組織マネジメントの違いなどを学びました。		
試験・課題など	課題はなく、試験は計4回ありましたが、こちらも Intro to Business と同じで 4 択式なのでテスト勉強をしやすかったです。		
感想を自由記入	大きな教室での授業だったので、講義が一方的で面白くはなかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Yoga		ヨガ	
科目設置学部・研究科	健康スポーツ科学		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Ella McDonald		
授業内容	毎回新しいポーズを練習したりしましたが、リラックスする事に焦点を当てているので誰でもできるヨガでした。		
試験・課題など	毎回授業終了後に気分を記入して提出していました。一度だけヨガについてのレポート・プレゼンがありました。		
感想を自由記入	難しい動きも無く、ゆったりとしたヨガの授業だったのでストレス解消になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Real Estate Principles		不動産入門	
目設置学部・研究科	ファイナンス		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Richard.D.Evans		
授業内容	不動産に関する法律や、金利計算などを講義型で勉強しました。		
試験・課題など	課題はありませんでしたが、選択式のテストが 4 回ありました。		
感想を自由記入	日本語で学んでも難しい内容だったので履修した教科の中で一番苦労しました。しかし、テストには計算方法が分かれば解ける問題が多かったのである程度の点数がとれました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamentals of Accounting I		会計学	
科目設置学部・研究科	会計学		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Charlene Spiceland		
授業内容	日本で言う簿記の内容を初心者向けに行う授業でした。テストは二回ペーパーの選択式と問題との融合で、後の二回はオンラインのテストですべて問題でした。		
試験・課題など	課題はチャプターが終わるごとにオンラインで問題を解いていきますが、わからなくて間違えても何度でも提出できるので難しくなかったです。試験は平均点が65~70点のテストだったのですが、テスト勉強をしっかりすれば九割取れると思います。		
感想を自由記入	担当教授はわかりやすい授業で有名で、わからないことがあっても一対一で教えてくれたので日本語で勉強しながら簿記の試験を受けようと思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Supply Chain Management		サプライチェーンマネジメント入門	
科目設置学部・研究科	サプライチェーンマネジメント		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Bradford R. Eichhorn		
授業内容	教科書にそってチャプターごとに解説をしていく授業です。在庫の管理やアウトソーシングのメリット・デメリットなどを学びました。		
試験・課題など	課題はオンラインで、全部で10回ほどありましたが、教科書に沿った復習問題なので30分ほどで終わる簡単なものです。学んだことを実際の企業の構造に落とし込んでリサーチするレポートが一度ありました。オンライン試験は全三回で、引っ掛け問題もありましたが、120点中 100 点以上をとれば 100 点扱いという独特な採点方法だったので毎回満点に近い点数でした。		
感想を自由記入	レポートに対する説明が少なく、チームメンバーのアメリカ人も戸惑っている様子でした。それ以外は授業に行って講義を聴いていれば難しくはなかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Resource Management		人事マネジメント	
科目設置学部・研究科	マネジメント		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Alex Rubenstein		
授業内容	企業の中の人事に関係することを学ぶ授業です。		
試験・課題など	課題はなく、試験が全部で五回、オプションのテストが一回ありました。オンラインテストで、スタディーガイドに沿って勉強しましたが内容は少し難しかったです。		
感想を自由記入	リクルート方法、候補者の見分け方や従業員のリテン率の向上、辞職・退職した雇用者に対する保障など、就職活動を始める前に学ぶことができ、とても役に立つ授業でした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL の勉強
8月～9月	TOEFL の勉強
10月～12月	出願、面接、協定留学者に選出
2015年 1月～3月	
4月～7月	ビザの取得・航空券の取得
8月～9月	渡米、オリエンテーション、中間試験
10月～12月	中間試験、期末試験、冬休み
2016年 1月～3月	冬休み、中間試験
4月～7月	中間試験、期末試験、帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生のときに英語が得意だったこともあり、高校生ときにアメリカ留学をしようと決意していました。日本の大学に受からなかったらアメリカの大学に入学することも考えていました。二年次にするか三年次にするか悩んでいたところにアメリカ人の友達が後押ししてくれ、普通クラスに入れる TOEFL 基準に達していなかったものの、チャレンジしてみることにしました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学後に焦らないように、二年前期は英語での授業を中心に履修していたので良いウォーミングアップになったと思います。また、バイト先でも英語を使って会話をする機会があったので良かったと思います。しかし、発音に焦点をおいて勉強していなかったのではじめは後悔しましたが、友達と話しているうちに上達したと思います。
この留学先を選んだ理由	Conversation partner で友達になったアメリカ人がメンフィス大学からの協定留学生で、ビジネスを勉強したいと相談するとメンフィス大学を勧められて気になり始め、フェデックス本社があることや田舎らしい雰囲気を入り、決めました。アメリカの大学については知らないことばかりだったのでアメリカ人の助言はとても大切だと思います。
大学・学生の雰囲気	大学は中野キャンパスとは打って変わってとても広くて緑も多く、晴れた日には木にハンモックをかけて昼寝している人がいて穏やかな印象でした。学生も気さくで優しい人が多く、生活しやすかったです。
寮の雰囲気	寮は比較的新しくて生活しやすかったです。秋学期はヨーロッパからの留学生が多かったので留学生の間で毎週のようにパーティーが行われていました。一方ルームメイトとは挨拶だけで、深くは関わらない人が多かったように思います。また、冬休みや春休みなど帰省する人が多くなるので、寮の周辺はとても静かでした。
交友関係	留学前にメンフィス大学に留学していた先輩から友達を紹介してもらい、留学後にはその人が他の日本語を勉強している学生を紹介してくれて輪がどんどん広がっていきました。普通のクラスでアメリカ人の友達を作るのは難しいですが、日本語を学んでいる生徒はつたない英語でも聞き取ろうとしてくれるので心の支えになりました。
困ったこと、大変だったこと	渡米後にドルに換金しようと思っていたのですが、ソーシャルセキュリティナンバーがないと手続きが面倒だったので友達に手伝ってもらいました。そこまで大変ではありませんでしたが、日本で換金していくと楽かもしれません。また、冬休み中は定期的にスーパーに行くバスもやっておらず、学生も帰省しているため車でも行けないので、歩いて15分ほどかけて食料調達しなければなりませんでした。
学習内容・勉強について	国際日本学部ではビジネスに関する授業は履修していませんでしたが、興味があった分野なので授業についていけないということはありませんでした。私が取った授業は講義形式だったので、発言が求められることはありませんでしたが授業によってはプレゼンをする必要がありました。履修できる授業数が限られているので、ゆったりと自分のペースで勉強することができました。
課題・試験について	課題は比較的少なく、あっても内容は復習だったのでどれも30分ほどで終わりました。試験はペーパー、オンラインに関係なく四択式が多かったので中間試験がある一週間前からテスト勉強を始めれば十分な点数を取ることができました。
大学外の活動について	大学外では活動しませんでした。
留学を志す人へ	たとえ英語に自信がなくても人と話すのが好きで、違う文化を受け入れる勇気があるのならば日本から飛び出してみたいです。田舎のメンフィスでも各国の学生がメンフィス大学に入学しようとアメリカで英語を勉強しています。日本である程度話せるようになってから、もう少し勉強してから、と考えている人は時間の無駄遣いをしている気がします。ぜひ、チャレンジしてみてください。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業				
	昼食	授業	昼食	授業		ジム	
午後	授業	昼食	授業	昼食	交流会		友人とあそぶ
	自習	授業	自習	授業	友人と買い物		
夕刻	夕食	夕食	夕食	夕食		パーティー	
夜	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠			

